

轉てん

教ぎょう

6  
2022  
June

信のとびら

功德を積む

6月のご奉公のすすめ

6月のお寺の行事予定

4月のご奉公日誌

私のよろこび

お助行に感謝

亡妻の13回忌を機に席主ご奉公

お助行のおかげで入院期間短縮

出勤前のお看経で勤続表彰

よろこび\*のお講席風景

「喜びを他に伝えた経験」

「お助行」安藤照志

こどもたちの会

被った恩は忘れない



佛立本旨講妙應寺

なかの教区  
ギリシャ陸亀 カメ背

## 功德を積む

仏様の教えをそのまま実行すれば、我が身も仏と変わらずに人を助けることが出来ません。そして、家もお守りを頂けると教わっています。仏様の教えとは、お題目を唱え、それを人にも勧めることです。この教えを実行し続けることで寂光参拝させていただけます。

このことを開導聖人はご教歌に

へのりのため  
つとむるなれば



身も家も 仏也けり  
浄土なりけり

とお詠みくださいました。

この仏様の教えを実行することは、簡単なようで難しく、難しいようで簡単なのです。日常生活に信心が溶け込み、信心第一に考えられる人には、仏様の教えを実行することは

難しくありません。しかし、日ごろはお互いに仕事や学校等があり信心するのは難しいものと思えば出来ません。さらに、忙しいからといって自分のことばかり優先してしまふと、気付かないうちに自身の欲ばかりを追いかけて苦しみの連鎖に悩まされることとなります。

煩悩を断ち切ることは難しいことです。ですが、仏さまから御教えを頂いている我々は、ご奉公に励み煩悩を出来るだけ遠ざけ、人に題目口唱を勧める弘通ご奉公によって現世安穩のご利益を頂くことが出来るのです。

開導聖人はご指南で

「法ほう貴とうければ人にん貴とうし 人貴ければ處ところ貴とうし」  
と教えて下さっています。

自分のことばかり考えていては功德を積むことが出来ません。周囲の人の幸せを願い、その祈願を立てましょう。そうすることが、自身の功德に

なるのです。功德を積むことは、自分の幸せにつながっていきます。「信心に積極的に励む人は、その人自身も貴くお看経のよく上がる家も貴いのです」ご指南の教えでは、こういう事なのです。そう、お看経の上がる家は、必ずご宝前からお守りを頂き現世安穩はもちろん、来世にも良い報いが返ってくることは間違いないありません。

以心得入の118ページに

「大歡組の山本多七は千日詣の誓願を一昨年に成就して、家はますます富み栄えています。今でも日参するに怠りは

ない、まさに真実の御教えを真実に頂いてご奉公をしているから、得とく其ご福報ふくほうの果報をいただいているのだ」  
と遺されています。

忙しい方も多いと思います  
が、ご奉公に励むとよい報いが返ってくるのとのお教えをもとに、自身の生活を見返してみて下さい。お寺参詣、お講参詣、家でのお看経など時間の配分を考えて少しでも功德を積めるようにご奉公の時間を作りだすことです。そうすれば、現世のお守りをいただければ、来世にも良い報いがいただけます。

# 6月のご奉公のすすめ

## 今月のご奉公テーマ「助行」

お題目口唱の行を「正行しょうぎょう」と  
いうのに対し、それを援助する  
ことを「助行じょこう」と言います。こ  
の意を汲んで、お助行に直接伺  
ましよう。

えない場合でも、電話で励まし  
合う、リモートで一緒にお看経  
するなどしてお助行を充実させ  
ましよう。

## 今月の「随喜轉教」

信者の体験したご利益を  
Twitter等ツイッターで広く世間に発信し  
ています。また、月初めの一週  
間、本堂で妙應寺チャンネルの  
映像を視聴する時間を設けてい  
ます。こうして頂いたご利益談  
や教えを積極的に他人に伝えま  
しょう。佛立本旨講は開導日扇  
聖人の「現証利益主義」を受け  
継ぐ宗派です。

## 来月の「ご奉公のポイント」

### 一、夏期参詣

7月1日金～7月31日日まで  
の31日間開催されます。

勤行は7時から8時30分、ご  
法門は7時45分からです。ご供

養の用意はありますが、今回も  
コロナ対策の一環として各自お  
持ち帰りいただきます。

本堂の様子は、毎朝 YouTube  
配信しています。班内の方々に

も伝えて「リモート朝参詣」す  
る習慣を弘めましょう。

### YouTube動画を

### 一緒に視聴しましょう

毎月初めの朝参詣週間に  
併せて、妙應寺チャンネル  
を皆さんで一緒に視聴す  
る時間を設けております。

一人で観るよりも、御信  
者仲間と一緒に観ることに  
より、理解が深まったり、  
難しいところはお互いに教  
えあう、という利点があり  
ます。

みんなで観た体験を、更  
に、家族にも広げてみましょ  
う。特に歴史篇は、日本史  
のようで面白い、と好評です。  
また、6月には信徒講習

# 6月の寺内予定

日 程	行	事	時 刻
1日～7日		開講本旨再興祈願朝参詣週間	
		併催 信徒講習会	7時45分
1日	水	開講本旨再興祈願総講	10時半
4日	土	運営会議	9時半
		財務委員会・評議員会	10時半・11時
5日	日	開導会奉修費・御供米料奉納締切	
11日	土	開導会分散参詣 当番 渋谷港	7時
12日	日	開導会分散参詣 当番 都中里、千葉	7時
13日	月	開導会分散参詣 当番 西部	10時半
		高祖大士御命日総講	10時半
14日	火	開導会分散参詣 当番 目黒世田谷	7時
15日	水	開導会分散参詣 当番 品川	7時
16日	木	開導会準備ご奉公（お供えつくり）	7時
		開導会分散参詣 当番 かながわ	7時
17日	金	開導会分散参詣 当番 杉並	7時
18日	土	開導会分散参詣 当番 多摩	7時
19日	日	開導会	7時半
25日	土	門祖聖人御命日総講	10時半

会を併催して、日蓮聖人御生誕満八百年に関連したビデオをご一緒に視聴いたします。

特に法華経についての話題は難しい部分もあります。が、御導師にはいろいろと角度を変えた切り口で、ご説明いただいております。二百を超える膨大な数のビデオになっておりますが、朝の視聴会ではテーマを決めて体系建てた構成をしております。



# この一年を振り返って

## 六角堂奉告文より

日尚上人御霊廟事教院六角堂において、謹みて令和三年度妙應寺ご奉公の概要を奉告申し上げます。

### 日晨上人御三十七回忌法要 「寂光の道しるべ」刊行

昨年八月には、コロナ感染を避けるために一年先送りとなっていた日晨上人御三十七回忌法要を、予定通り八月二十九日に奉修することが出来ました。コ



ロナ感染は未だ収まっていま  
せんでしたが、過密になるのを  
避けるために一連合ずつ八日  
間かけて分散参詣を行ない、法  
要当日は七時からの晨朝勤行で  
御三十七回忌言上をさせていた

だきました。日晨上人が最晩年  
に精魂込めて作成された宗風十  
項目は、法華経を信仰する者は  
その教えが日常の振舞に反映さ  
れなければならない、という趣



旨のもとにまとめられたもので  
す。それを後世に遺すことが日  
晨上人に最もお喜びいただけ  
る報恩御奉公になると考えま  
した。宗風十項目に沿った御教歌  
を選定して「寂光の道しるべ  
二」として発刊、六月一日のお  
総講から宗風によるご法門をさ  
せていただきました。

### リモート参詣の定着

一方、コロナ感染は第六波、  
第七波となって相変わらず続い

# 令和4年4月行事報告

日 程	行 事	時 刻
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間	
1日	金 開講本旨再興祈願総講 地区・連合・教区・事務局辞令伝達式・ 令和4年度ご奉公の誓い（信徒代表）	10時半
2日	土 運営会議	9時半
3日	日 開講本旨再興日尚上人祥月御命日法要 奉修費奉納、御塔婆・参詣人数申込締切	
13日	水 高祖大士御命日総講	10時半
17日	日 日尚上人祥月御命日法要 （併修 佛立本旨講創立記念式、開導聖人御命日総講） 六角堂奉告式	10時半 13時半
25日	月 門祖聖人御命日総講 令和2年度後期納金表提出締切	10時半
29日	金 立教開宗記念5時間口唱会	9時半

ており、終息が何時になるか予断を許しません。しかし昨年から続けてきたリモート参詣も定着し、遠方信徒にも映像で朝参詣やお講席の様子を見ていただけるようになりました。また、お寺の活動を広く世間に見てもらおうYouTube 妙應寺チャンネルの登録者は五六五名になりました。引き続き宗外に向けて下種結縁すべくこれらの広報活動に力を入れてまいります。

我等末弟の微意をご照覧ください、一層の御冥加を賜らんとを請い願ひ、奉告とさせていただきます。

令和四年四月十七日

佛立本旨講妙應寺住職日在

# 喜びを他人に伝えた経験

## ◆御導師より◆

I さんは、昔、朝参詣をした帰り道、お父さんが毎日の様に、「今日の御法門は・・・」と子供向けにわかる様にお話して聞かせてくれたそうです。今では、井上さん自身が教化子もいて沢山の方々の育成をなさる立場の役中となり、「昔、父が言っていたのでが・・・」と客観的に伝えることもでき、I さん自身も、とても温かいものを感じています。

伝えるとはそういうことです。弘めましょう！一緒にやりましょう！という行動が弘通ご奉公に繋がります。他の人を励ますお助行も、映像を転送するだけで、そこ

によるこびを伝える事が出来ま  
す。(杉並教区でのご法門より)

## ◇「お寺に行ってます」◇

かながわ北教区

S さん

私は早朝に家を出て、帰宅がお昼頃になります。これを近所の人が見ている、早くからどこへ行っているのですか、とよく聞かれます。私は、『母の代から、信心をしているお寺に朝参りに行っています』と答えると、偉いですね、気をつけてね、といって励ましてください。

『お寺さんに行くと御信者の皆さんに会えて、お題目を一緒に唱え

るとすつきりして、とても気持ちが良いのです』と答えています。

ですから、普段から信者らしく、きちんとした態度を心掛けて、近所の人達にも良い印象を持って頂けるように努めています。

## ◇日在メールを全員に送りたい◇

大井大森教区

Y さん

よろこびを他人に伝えるのは、私の経験だけではなく、多くのご信者さんの体験談も含めています。それは毎日発信される「日在メール」。これを読まれる事をお勧めすると、こんな事が本当にあるんですねと、驚かれております。お助行に伺うごとに話題に事欠





きません。ご信心させて頂いて理由が少しづつ、前進させて頂いております。教区の全員が「日在メール」を受けている状況ではありませんので、更にご奉公させて頂きます。

### ◇介護ストレスが解消した◇

多摩教区

Iさん

新潟に在住の妹は、義理の母親の介護をしています。急に認知症が進み歩いてトイレに行けなくなりベッドでおむつを変える様になりました。時々電話で、妹に介護のアドバイスをしておりましたが、慣れない事の連続で随分痩せてしまい、それにストレスで体調を崩してしまいました。私も心配で、お寺にお参詣した時は、妹の関係有縁無縁のお塔婆やご回向を

させて頂いています。

そのお陰か、担当のケアマネさんが急に変わり、新しい方が大変良い方で、直ぐに施設に入れる様にしてくれました。私も一安心しました。妹には、「あなたの関係有縁無縁のお塔婆やご回向している」ことを伝えました。妹もこの様なお計らいを頂けたことを本当に感謝しています。私も本当に良かったと思います。これからも御回向を実践し、まだ、知らない人に、そのありがたさを伝えて行きたいと思います。

### ◇叔母のご利益を娘に◇

石神井教区

Eさん

叔母に聞いたご利益談を娘に話した事があります。最近では股関節手術後の痛みが、まるでなかつ

た事です。以前私が手術をした時も、教区の皆さんが応援祈願をして下さり、手術の時間帯もずっとお看経して下さいました。おかげ様で他の患者さんが術後の痛み止めを飲んだりしている中、痛がりの私が痛みなく過ごせたことも話しました。お守り頂いている事、皆さんの応援祈願のありがたい事も話しました。家族でない人を思つてご祈願できることはいね、すごいねと感じました。娘自身も今度どなたか困っている方がいらしたら応援してあげたいと言っていました。

もう一つ、何年か前に叔母の家のすぐ近くの家が全焼して死者も出たのに、叔母の家だけ被害が無かつた事です。本当に良かったねと言っています。

# 亡妻の13回忌を機に席主ご奉公

かながわ南教区 Hさん

私のご信心は、今は亡き妻、

て頂きたいと思うようになり、

直子と結婚したのがきっかけで

役中さんに声をかけたら、奥さ

す。義理の母のすすめで右も左

んの祥月の三月にさせて頂いた

もわからないまま、身読会のご

らと言つて頂き、本日無事に席

奉公をさせていただきました。

主をつとめさせて頂きました。

名取昭六さんも一緒に、今思え

妻も良かったねと言っているよ

ばよい思い出です。

うな気がします。これからも信

昨年妻の十三回忌には、子ども

行相続のご祈願をしながらお参

達と六角堂にお参詣出来まし

詣に励みます。

た。その頃から甲の願主をさせ

## お助行に感謝

渋谷港教区 Iさん

平成13年8月13日に、くも膜

直ぐにお寺参詣をしてご祈願に

下出血を患いました。夜中に緊

すがつたとの事です。翌日より、

急手術を受けて、術後2週間、

自宅でのお助行が始まり、連日

意識が戻りませんでした。母は

ご信者さんが自宅に参り、最初

は家族も戸惑ったそうです。母より、「(私の為に) 皆さん、連日お助行して下さい」と話をし納得したとの事です。

その中でも、あるご信者さんは勤務帰りに毎日お助行に見えて、1時間お看経を上げてサツと帰ると言う日々を1ヶ月間も続けてくれました。私の意識が戻った頃、院内感染を防止し隔離され、命の境を彷徨った時も熱心にお助行してくれました。退院後はその話を聞いて本当に有り難さを痛感しました。その方をはじめお助行に積極的に参加、ご祈願をしてくださった方々に感謝致しております。母の時も私の時も有難うございました。お助行の大切さを思つて信心増進に励みます。

# 私のよろこび

## お助行のおかげで入院期間短縮

目黒教区 Tさん

昨年の9月に家で失神し腰を

打ってしまい、救急車で運ばれ

翌日大腿骨頸部骨折で、手術し

ました。入院計画書では2、3

カ月と書いてありましたが、皆

様のご祈願とお助行のおかげで

1カ月で退院できました。手術

前は数回失神がありました。が、

お計らいで座っている時でした

ので、大事に至りませんでした。

検査入院でも原因が分からず

悶々とした日が続いて、ご宝前

に御すがりしかないと思いまし

た。そこで病院を替えたらすぐ

原因が分かり、即入院を勧めら

れペースメーカーの手術をしま

した。今回も皆さん方の応援を

頂いて感謝しております。

その後骨折はリハビリ途中で

筋肉がつかず、今もリハビリ中

## 出勤前のお看経で勤続表彰

都教区 Sさん

先日、会社から勤続表彰をいた

だきました。おかげ様で大きな

事故やトラブルもなく勤務させ

ていただくことが出来ていま

す。

朝出勤まえのお看経で、今日

も命をいただいたことへの感

謝、家族、近しいひとの災難除

滅、そして勤務先の住民の方々

や会社、出入り業者さんの有縁

無縁を必ず言上させてください

ですが、だいぶ軽減し良い方向

にきています。これからも辛い

事も乗り越えられる様に、ご宝

前にご祈願して生涯現役を目指

したいとおもいます。

ています。

このコロナ禍の2年間もコロ

ナに感染することなく勤務でき

ました。あわただしい中です

が、毎日心を込めてお看経させ

ていただいているおかげと感得

しています。健康第一に生涯現

役でご奉公させていただきます

よう、表彰の副賞でいただいた

ステンレスポットにお供水さん

を詰めて毎日出勤しています。

# 立教開宗記念5時間口唱会

4月29日(金)祝9時半から3年ぶりに五時間口唱会を奉修。終了後、御導師から次のお言葉をいただきました。

「立教開宗記念の口唱会を、みんなが集まって行うのは久しぶりです。コロナも幸い下火になってきているので、こういう一つ一つのご奉公を丁寧に実行させていただきます」と思っております。



主人が帰寂して六角堂に納骨させて頂きました。教区長さんに勧めて頂き、家族で月命日に六角堂に献花奉納をさせて頂く事にしました。

コロナ禍等もあり、中々お参りに行けませんがとても身近に感じます。

先日もお彼岸のリモート参詣を自宅からさせて頂きました。が、とてもホッとしました。また、献花奉納をさせて頂きながら六角堂にお参詣したいと思えます。

(人間教区 Tさん)

## スマホ便利アプリ 紹介コーナー

### ラインの便利な小技⑪

「メモ機能として使う」

メッセージ(トーク)を送る前に内容をチェックして誤った文章を送ってしまうことを防ぐことができます。

そのやり方は、「一人グループ」というグループを作り、送りたいメモを自分(一人グループ)に送り、内容を確認のうえ友達に転送します。

### 「一人グループ」の作り方

①「ホーム」タブを開き、友だちリストからグループをタップ

②グループ作成をタップ

③友だちを選択せずに「次へ」をタップ。

④グループ名をわかりやすい名前を付けて終了です。



# 今年度のテーマ「お助行」

## 「お助行」の体験

安藤照志

堅信会会長さんから、「来年

からは安藤さんが会長になって、会を進めてほしい」と話がありました。私は二十二歳、ベテランの方々が大勢いるのにと思いましたが、ご宝前からだと思ひ直し、「させて頂きます」と返事をしてしまいました。

進めていく事にしました。

か、どの様に進めれば堅信会が発展してゆくのか決めかねて、会員皆に相談しながら

さて堅信会のお講には、二十人〜二十五人位のお参詣があり、しかも初めて顔を合わす方も多い事を知り、始めに参詣者一人一人に自身の職業とエピソードを話して頂き、お互いの親睦を深めるようにしました。実際に話を聞くと、お菓子屋さんや鉄骨業の方、海苔の間屋に勤める方、会社員の方等、色々な仕事の方がいらっしやることを知ることができ、お互いの事を知り合えて少し身近な間柄になれたと思えました。

そこで皆で相談して男子信徒の名簿から、手分けをして一軒一軒、お講参詣の将引助行をす

る事になりました。しかし、ご本人が家に居て下さる日時が決まるまでに、相当に根気強く何回もお願ひし続けてやっと約束して頂ける、あきらめないで根気よく進める覚悟が必要な事を知りました。助行はそれ程までも大事なご奉公なのです。

今ではコロナ禍ということもあり、スマホを使つての顔を見ながらの将引、電話がつながらなくても、メールで一斉に連絡できます。しかし、弘通発展は皆の信心増進、ご利益感得があつて進みます。ご利益は信心で頂くのですから信心を進めるお助行は、大事なご奉公である事を見失わないで頂きたいものです。



ご信者さんのご有志で献花台の  
カバーが新調されました。



# ★こどもたちの会★

## 「<sup>こうお</sup>被<sup>あん</sup>った恩<sup>わす</sup>は忘れない」

<p>⑥ 妙法のお題目は「信じて唱える！」</p>	<p>① いや〜、ちょっとケガしちゃって。今からお寺でおさんげさせて頂くんです。</p> <p>腕どうしたんですかー?!</p>
<p>⑦ 妙法のお題目は「希望を持って唱える！」</p> <p>……ことが肝心です。</p>	<p>② あらあらそれは貴重な体験をされたのですね?</p> <p>ハイ、実は仕事で忙しい事を理由にお着経を短くしていたら、おバチを頂いたのです。</p>
<p>⑧ 人間の弱いところがでてきたのですね。</p> <p>せっかく仕事が増えなくなってきたのも、ご利益を頂いたのに自分考えを出してしまいました。</p>	<p>③ お題目口唱のご利益によって救われた人は沢山います。</p>
<p>⑨ 分からないからお給仕を粗末にしたりする等、ありますからね。</p> <p>被った恩を忘れないようにしないとダメですね!!</p>	<p>④ 家族の命を救って頂いた家庭もあれば――</p> <p>お寺参詣によって自分の苦しみを脱した人もいます。</p>
<p>⑩ 頂いた恩を忘れずに元氣張りましょう!!</p> <p>これから弱い心に負けぬよう頑張ります!!</p>	<p>⑤ それらの体験を通じて明らかかなことは――</p> <p>妙法のお題目は「喜んで唱える！」</p>

※ご教歌…わすれぬを たもつといへば 法花経のかたきを買よ おのが心の

4月17日(日)日尚上人祥月御命日法要、佛立本旨講創立記念、奉告式を無事奉修させて頂きました。六角堂へ代表参詣いたしました。

思えば、日尚上人との出会いは、私が中学生の時に蒲田妙泉寺の御住職に就任された時でした。その時の印象は、優しくスケールの大きなお方と言う事を思い出されます。

お寺のご信心ばかりでなく、世の中の様子を広く見分し、理解する事をご指導頂きました。晩年にご縁を頂きご奉公させて頂けた果報にただただ感謝申し上げます。



事務局 局長 山本久男(六角堂にて)

## 轉教

令和4年6月1日発行 第24巻第6号 通算268号  
編集兼発行人 山本久男  
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺  
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11  
TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



[info@myooji.com](mailto:info@myooji.com)

題 字：水谷日尚上人